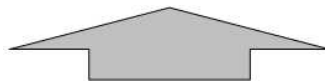


事務事業名 ちくしの文化講座事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：656

施 策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-03-00
基本事業：	01	学習ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	生涯学習講座の充足度 ホームページアクセス件数 学習情報の利用者割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民（小学生以上）		参加者から受講料を徴収し、生涯学習のきっかけづくりとして、カルチャー講座事業を生涯学習センターを中心に開催している。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【定期講座】音楽、手芸・工芸、暮らし・実用、英会話、新体操等 【短期講座】ヨガ、カラーセラピー、料理等 【1day(1日体験)講座】料理、手芸・工芸、暮らし・実用等 【パソコン講座】Word・Excel等の実務講座、 スマホ・タブレットの活用講座等				
市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動、特に、生涯学習のきっかけづくりとして行うこと。		【歴史講座】				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
受講者数	人	737	872	1,000	850			1,000
受講者延べ人数	人	2,803	3,243	2,900	3,000			3,000

5. コスト								
事業費	計	千円	3,517	4,131	4,138	4,141		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	3,517	4,131	4,138	4,141		
一般	千円	0	0	0	0			
正職員人工数	人工	0.3	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	2,399	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	5,916	4,940	4,945	4,141			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<ul style="list-style-type: none"> 受講者の年齢層に合わせ講座に託児を設け、小さい子どもを持つ保護者が参加できる講座を多く取り入れ、好評だった。 パソコン講座については、講師の人数を増やすことで、高齢者や未経験者への対応ができ好評だった。講座内容についても、パソコンだけにとどまらず現代のニーズに合ったスマホやタブレットの講座を多く開講し喜ばれた。 参加人数が少ない講座については、可能な限り広報やホームページに掲載して追加募集をし集客に努めた結果、参加者総数が大幅に増加した。（平成29年度 2,804人 平成30年度 3,243人） 							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	あり	民間においても各種講座が開催されているが、営利を目的としない行政が講座を実施するからこそ比較的安価な受講料を設定でき、「学びのきっかけ」を多くの市民に提供することができる。				
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

現在開催している講座について、受講者数等を分析し随時内容の見直しを行っていく。また、社会情勢の変化に伴い市民のニーズも変化するため、市民のニーズを聞き取りやアンケートなどで探り、ニーズに合った講座の開設をする。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
生涯学習センター開館にあわせ、高度化・多様化する市民の学習ニーズに応じた学習機会を提供している。								